

アクティブ試験 active tests

[言い換え案]

最終試験運転

[簡単に]

青森県六ヶ所村の使用済燃料の再処理施設が操業するために必要な、最終の試験運転

[詳しく]

日本において原子力発電所から出る使用済燃料のリサイクルは、青森県六ヶ所村の再処理施設が操業することで、本格化します。そのために行われている数々の試験運転のうち、最終の試験運転のことを「アクティブ試験」と言います。実際の稼動条件(active condition)で実施するので、このような名称になっています。

[角度を変えて]

六ヶ所村の再処理施設では、操業に向けて様々な試験を行ってきました。まずは、水・蒸気・空気を通して正常に作動するかどうかの試験を行い、次に、硝酸などの化学物質を使って正しく動くことを確認しました。さらに、ウランを使った試験を行い、問題なく処理できることが確かめられました。このように、これまで取り扱いが比較的容易なものから、大きな注意を要するものまで、段階的に試験を行って、機能や安全性に問題がないことを確認してきました。

そして、最終段階の試験として、実際に原子力発電所から出た使用済燃料を使う試験を行う段階にきています。この試験は、運転員や保守員の訓練という側面も持っています。

[誤解に注意]

- ・「アクティブ試験」という言葉からは、再処理施設を操業させるための試験であることが伝わりにくい。「何か活動的な試験」といった誤解もある。そのため「最終試験運転」と言い換えて説明するとわかりやすい。「アクティブ試験」という言葉を使う場合は、まず、何のためにどのような試験を行うのかを説明しなければならない。

[わかりやすく伝えるポイント]

- ・一つの施設だけの試験運転を表す語であり、さほど重要な用語でないと思われるかもしれない。しかし、原子燃料サイクル事業が本格的に始まるかどうかを分ける重要な試験を指しているため、できれば一般の人にも知っておいてもらいたい用語である。とくに、今後、原子燃料サイクルをどうするのかについて、国民的議論を経て決めていこうとす

る場合は、この試験を中心とした、六ヶ所村の再処理施設の現状を、誰でもわかるように伝えることは重要である。

【関連語】

原子燃料サイクル → 親見出し参照 (p149)

再処理 → 親見出し参照 (p141)

使用済燃料 → 親見出し参照 (p133)

【参考文献】

- 日本原燃 HP より <http://www.jnfl.co.jp/cycle-recycle/testing/active-test.html>
<http://www.jnfl.co.jp/shiken/shiken01/003.html>
- ATOMICA より http://www.rist.or.jp/atomica/dic/dic_detail.php?Dic_Key=2281